



2020年 2月17日
第110号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



2月15日神奈川県労働文化センターにおいて第24回定期地本委員会を開催しました。スローガン、第24回定期大会以降の経過と当面する取り組みについて、協約・協定の締結承認について、2020年度暫定予算について、委員会宣言を満場一致で採決しました。

第24回定期委員会スローガン

1. 2020JR総連春闘勝利！正しい情勢認識に基づき、統一要求・統一闘争で年功賃金と終身雇用を守り抜くとともに大幅賃上げを実現しよう！
2. 18春闘総括からの逃亡・組織破壊を許さず、新たな12地本の総団結で、新生JR東労組の強化・拡大を実現しよう！
3. 職場からのたたかいで、あらゆるハラスメントを許さず、安全・健康・ゆとり・働きがいある職場を実現しよう！
4. 憲法改悪に「NO」を！政治意識を高め、JR東労組と連帯する仲間と共に、労働者が平和で安心して働ける社会を実現しよう！

素晴らしい采配で委員会を進めてくださった議長のお二人、ありがとうございました！



委員会宣言

JR東労組横浜地本は2月15日、神奈川県労働文化センターにおいて第24回定期委員会を開催し、20春闘をはじめとする運動方針を満場一致で確立した。

18春闘大敗北の総括から組合員と向き合い議論し、組合員の思いや考えを大切にしながら職場から組合員と共に運動をつくってきた。その結果、第24回定期大会以降、5名の仲間の再加入を実現した。不当労働行為を受けた組合員に、分会・支部・地本がしっかりと寄り添い、不当労働行為を跳ねのけ本人をはじめ職場の仲間と共に東労組組合員として歩いていく決意を固めてきた。また、原因究明委員会、各種勉強会や意見交換会、相鉄労組の組合員との交流を通じ、組織の強化を実現してきた。今後も組合員に寄り添い、組合員第一で運動を進めていく。

一方で会社や本部批判を繰り返し、第三者機関の活用を声高に叫び続ける東京・水戸・八王子地本の一部指導部が組合員に対して「脱退して無所属になるか」「新労組に行くか」を迫り、分裂・組織破壊集団を立ち上げた。「脱退しろ」などと組合員にせまる組織は労働組合ではない！18春闘以降の責任回避と、国鉄改革への裏切りを断じて許すことはできない。そのような中、組織破壊に抗して「JR東労組東京地本を守る会」「組合員のためのJR東労組を守る八王子の会」が結成した。彼らはJR東労組中央本部と共に歩み、12地本の総団結と組織再建のために立ち上がった仲間だ。横浜地本は、東京・水戸・八王子地本に所属するJR東労組の組合員と団結し、組織再建をめざしていく。

20春闘について、経団連は新卒一括採用や各企業一律のベースアップ、年功序列型賃金、終身雇用などの日本型雇用の転換・見直しをめざしている。経団連の方針は、労働者同士を分断し、格差社会を助長するものである。JR東労組は、連合方針に踏まえてJR総連春闘として統一闘争・統一要求に基づく統一ペー要求「6,000円」を方針決定した。経営基盤の健全化と社会保障の持続性を求めて大幅賃上げと労働条件の向上を求めて20春闘をたたかい抜こう。

JR東日本を取り巻く社会状況は、労働人口の減少、ICT・AI技術の革新、自然災害の激甚化、またオリンピック・パラリンピック東京大会の開催などめまぐるしく変化していく。昨年の春闘以降「変革2027」に基づく「新たなジョブローテーションの実施について」をはじめ、JR東労組として50回を超える団体交渉を実現してきた。正しい時代認識と情勢分析に基づき雇用確保を大前提に組合員と家族の利益を第一として運動をつくり出していくことが使命である。「安全・健康・ゆとり・働きがい」のある職場を実現しよう。

日本の政治状況は悪化の一途である。「桜を見る会」の私物化やIR事業関連の汚職事件などが取りざたされているものの、安倍首相は責任逃れを決め込んでいる。それどころか開き直り、改憲意欲は失われてはいない。さらに、私たち労働者の生命線である労働諸法制的改悪などがめざされている。政治は単に選挙で誰を選ぶかではない。政治は私たちの生活基盤や将来を決めるのである。平和で安心して生活できる社会を実現するためにたたかうすべての仲間と連帯しよう。

私たちJR東労組横浜地本は、中央本部・12地本と共に「新生JR東労組運動宣言」を掲げ、組合員と家族の幸せを実現するために、雇用確保と命を守ることを最大の価値基軸として、全組合員で安心して働ける職場環境を実現し、明るい未来を切り拓こう！

以上、宣言する。

2020年2月15日
東日本旅客鉄道労働組合
横浜地方本部
第24回定期委員会

横浜地本一丸となって新生JR東労組運動を進めていこう！